

関南部地区

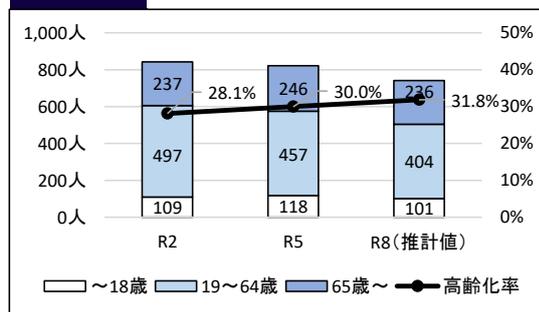
◆概要

	【位置図】	まち協名	関南部地区まちづくり協議会		
		所在地	亀山市関町萩原172-3	電話	0595-96-1011
		地区構成	古厩 萩原 関ヶ丘 福德 久我 越川 金場		
		地域特性	亀山市の南部に位置し、昭和40年に東海圏と近畿圏を結ぶ国道25号線の自動車専用道路として名阪国道が開通し、沿線の7自治会の生活道路になっております。古代から大和街道は、加太を越え伊賀を通って奈良に通じています。大和街道の金場から越川・久我・福德・萩原を通り伊勢別街道の古厩に抜ける沿線に集落が点在しております。関ヶ丘は、昭和48年に関ニュータウンとして宅地開発され約700戸分が宅地造成されました。しかし、約500戸が分譲放棄地であり、住環境整備が課題となっています。		
面積	1,190.7ha	ホームページ	http://sekinanbutiku.wordpress.com/		
めざす姿	安心・安全に暮らし、幅広い世代が親睦と交流を深め、地域の活性化を目指すまち				
地域の誇り	大和街道から伊勢別街道へと続く、歴史ある自然豊かな地域				

◆人口

	令和2年	令和5年	令和8年 (推計値)	増減	
総人口	843人	821人	741人	-22人	
人口密度	0.71人/ha	0.69人/ha	0.62人/ha	-0.02人/ha	
65歳以上	人口	237人	246人	236人	9人
	比率	28.1%	30.0%	31.8%	1.8%
18歳以下	人口	109人	118人	101人	9人
	比率	12.9%	14.4%	13.6%	1.4%
外国籍	人口	18人	36人	18人	
	比率	2.1%	4.4%	2.2%	

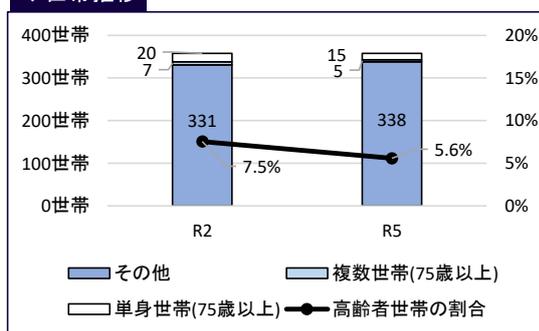
◆人口推移



◆世帯

	令和2年	令和5年	増減
総世帯	358世帯	358世帯	0世帯
単身世帯 (75歳以上)	20世帯	15世帯	-5世帯
複数世帯 (75歳以上)	7世帯	5世帯	-2世帯
高齢者世帯割合	7.5%	5.6%	-2.0%

◆世帯推移



◆介護保険認定者

	令和2年	令和5年	増減
要支援1.2	7人	6人	-1人
要介護1～5	39人	37人	-2人
合計	46人	43人	-3人

◆地域組織

	令和2年	令和5年	増減
自治会	7	7	0
老人クラブ	1	1	0
子ども会	0	(1)	(1)

◆福祉・医療・教育等に関する社会資源

民生委員・児童委員	2
主任児童委員	1
福祉委員	14
介護保険施設・事業所	0
サービス付き高齢者向け住宅・有料老人ホーム	0
障がい福祉施設・事業所	0
児童福祉施設・事業所	0
病院・一般診療所	0
歯科診療所	0
薬局	0
保育所	0
幼稚園	0
認定こども園	0
放課後児童クラブ	0
放課後子ども教室	0
子育て支援センター	0
学校(小・中・高)	0
乗り合いタクシー停留所	12

◆担当地域包括支援センター

亀山第2地域包括支援センター もくれん

◆サロン活動

	令和2年	令和5年	増減
ふれあいいきいきサロン	4	1	-3
子育てサロン	1	0	-1
コミュニティサロン	0	0	0

◆福祉委員会活動

◆構成員 福祉委員

◆活動内容

【交流活動】

納涼会やフェスティバルをまちづくり協議会として開催することで地域の交流を促進しています。

【訪問活動】

一人暮らしや75歳以上のみでお住まいの高齢者世帯への訪問を年2回行っています。

【その他】

民生委員と福祉委員の情報交換会や出前健康講座などを行っています。



産直野菜販売



ふれあい菜園収穫祭

◆まちづくり協議会の恒例事業

- ・ふれあい敬老会
- ・ふれあい納涼会
- ・まちおこしフェスティバル
- ・手づくり作品展
- ・産直野菜販売
- ・ふれあい菜園収穫祭
- ・グラウンドゴルフ
- ・健康講座(ピラティス教室)
- ・クリーンアップ作戦
- ・介護予防教室

◆生活支援コーディネーターからのコメント

関南部地区の人口は821人で、そのうち30.0%にあたる246人が65歳以上です。地域内358世帯のうち、5.6%にあたる20世帯は75歳以上のみで構成されています。また、地域内人口の4.4%にあたる36人が外国籍です。地域の特色として、関ヶ丘には子育て世代が多く住んでいる一方、金場や福德など昔から住む地域は人口減少が進むなど、地区内でも状況が大きく異なります。地域活動として、獣害対策で捕獲した鹿を使った料理を文化祭で提供したり、コミュニティセンター内で産直野菜を販売するなど、従来から地域に根差した取り組みが活発に行われています。令和5年度から開始した「お米づくりプログラム」では、子ども達が4月に田植え、8月には稲刈りを体験し、さらに収穫したお米を使って敬老会で味ご飯を提供するなどして三世代交流が図られています。また、若い世代が中心となり、住民以外の方にも地域の魅力を知ってもらえるようYoutubeやInstagramで地域活動の様子を積極的に発信しています。引き続き、若い世代の力やアイデアを取り入れながら、幅広い世代が参加できる新たな地域活動を展開していくことが期待されます。